

## 『行政書士のための 特殊車両通行許可申請の説明書』増版決定！

この度出版社（税務経理協会）より、拙著『行政書士のための特殊車両通行許可申請の説明書』の増版提案をいただきました。より多くの方に特殊車両通行許可申請の世界について知ってもらいたいという想いで2年前に出版しましたが、一定の評価を得て増版のご提案をいただき大変有難く思っております。

増版に伴って改訂する事項を一部紹介させていただきます。

### ①画面写真の変更

システムの変更に伴い、画面の写真を変更します。また、より見やすく大きく写真を表示する予定です。

### ②各種データの更新

特車申請に関連する各種データは2年前時点の最新データですので、データの更新を行います。

### ③NEXCO オンライン申請

従来 NEXCO への申請は書面のみでしたが、オンライン申請が可能になりました。オンライン申請手続きの詳細や注意点を挙げます。

### ④特車確認制度

特車許可制度に加えて今年4月から新しく特車確認制度が創設されました。走り始めたばかりでシステムエラーや仕様改訂等がまだ生じている状況ですが、大まかな制度自体

に変更はないと考えております。したがって、制度の概要および特車許可制度と比べた際のメリット・デメリット等を列挙する形での解説にしたいと考えております。

★ ★ ★

改訂版の出版は来年2月頃を予定しております。今後も特車申請業界、運送業界にてお役に立てるよう精進する覚悟です。よろしくお願いたします。



## 運送事業者向けデジタル人材養成講座 (オンライン版)が開催決定！

私、佐久間が取締役副社長を務めるグローバルナレッジ株式会社では『デジタル人材養成講座(オンライン版)』を開催します。

2024年問題や燃料費高騰に直面し、運送事業者は生産効率を上げるために「DX」(デジタルトランスフォーメーション)をテーマに急速にデジタル化・IT化を進める動きが活発になっています。しかし、未だに運送業界におけるDXは十分に進んでいません。株式会社ドコマップジャパンが行った調査によると「DXを十分進められている」と回答した運送事業者は全体の12.9%であり、DXを進められていないと回答した運送事業者がその理由として挙げたのは「DXに関するノウハウ

がない」(51.3%)、「ITに精通した人材がない」(28.9%)などです。

私も運送事業者向けDX推進に携わって強く感じます。運送業界でDXが進まない最大の理由は**社内のIT人材不足**です。このIT人材についてよく勘違いされるのですが、「IT人材」とはスペシャリストを指すのではなく、業務フローを整理し、ITツールの活用に結び付けられる基礎レベルがあれば十分であると考えています。今回紹介する『デジタル人材養成講座(オンライン版)』は基礎レベルの習得を目的とし、各社の状況に応じた個人別コーチングがセットになっています。是非、この機会にご検討されてはいかがでしょうか。

### 実施要領

#### 日程及び内容

- 2022年  
9月21日(水) 9:30～12:00  
Day 1: DXの基礎知識と物流運送業での実践に向けて
- 9月28日(水) 9:30～11:30  
Day 2: 業務プロセスの棚卸と業務フローの見直し
- 10月6日(木) 9:30～11:30  
Day 3: IT導入と運用
- 10月13日(木) 9:30～11:30  
Day 4: データの分析・活用の基礎知識と実践
- 10月19日(水) 9:30～12:00  
Day 5: 物流DXの未来  
※個人別コーチング3カ月間

#### 参加形態

オンライン(ZOOMを使用予定)

#### 講師

杉山良仁  
グローバルナレッジ株式会社 代表取締役  
歌代 勇  
グローバルナレッジ株式会社  
中村康久  
元NTT / 『シン・物流革命』(幻冬舎) 著者

#### 申し込み方法

グローバルナレッジ株式会社のHPからお申し込みください。  
<https://www.globalknowledge.com>





# 佐久間推奨銘柄を紹介！

バブル絶頂期の1990年では定期預金の金利は6%程度ありました。これは約12年で原資が2倍になる水準です。ほぼノーリスクで資産が増える夢のような時代でしたが、残念ながら現在ではそのようなオイシイ話はありません。あるとすれば詐欺話なので注意が必要です。インフレ時代に備えて資産を防衛するためには、私たちは現預金だけでなく、株式や不動産のようにインフレに強いとされている資産を持つ必要があります。これはリスクを負った投資というよりも資産を防衛するために形を変えた資産を持つというイメージです。

今回は私が推奨する株式銘柄をご紹介します。もちろん推奨する以上私も保有している銘柄です。ただし、私は株式投資のプロではないので自己判断での投資をお願いいたします(笑)

## 推奨銘柄

4595 ミズホメディー  
(東証スタンダード)

## 企業概要

医療向け体外診断用医薬品が主力の医薬品メーカー。感染症分野を中心に展開しており、主力製品は新型コロナウイルス検査薬。製品の企画開発から製造、販売まで自社一貫体制を構築。病院・開業医分野では、新型コロナウイルスの遺伝子の抽出からPCR増幅・検出を行う全自動遺伝子解析装置、新型コロナやインフルエンザウイルスなどの呼吸器やノロウイルスなどの消化器感染症を対象に、大病院からクリニックまで幅広い医療現場で利用可能な、感染を目視判定できる迅速診断キットシリーズなどを展開。OTC(薬局・薬店)・その他分野では、妊娠検査薬などを提供する。(QUICK企業価値研究所 執筆)

## 推奨理由

### ①新型コロナ関連銘柄

個人的に新型コロナ感染については長期にわたって収束の見込みはないと考えています。現状を観察すると、ウイルスは変異をしながら感染力を強くしていると考えられるからです。新型コロナ検査薬やインフルエンザ検査薬に強みを持つ当該企業の商品の需要はこれからも拡大傾向にあるでしょう。

また、新型コロナ検査薬のネット販売解禁も追い風になっております。ただ、新型コロナを感染症法上の2類相当から5類に引き下げれば企業業績に悪影響があるのではないかと一部で評価されていますが、5類に引き下げられたとしても季節性インフルエンザ同様に検査の需要は大きく変わらないと考えています。

### ②強固な財務基盤かつ稼ぐ力が強い

自己資本比率は75%程と理想企業の目安と言われる70%を超えて

います(40%以上なら倒産しにくいと言われてます)。また、自己資本に対してどれだけ稼いでいるかを示すROEに関しては81.5%と桁外れの稼ぐ力を持っています(2022年8月17日現在で国内上場10位)。

### ③高配当

1株当たりの配当金は190円であり、2022年8月17日現在の株価3,175円から計算してみると、配当利回りは5.98%です。

多少値下がりしたとしても、保有しているだけで高い配当収入を得ることができます。値上がりするまで持ち続けられるというのも魅力的です。

### ④割安株

1株当たりの利益の何倍の株価が付けられているかを見るのにPERという指標があります。国内上場企業の平均は12倍(12年分の利益が株価に織り込まれているという意味)ですが、ミズホメディーの場合はPERが5倍程度(2022年8月17日)となっています。

つまり、5年程度の利益しか織り込まれていないということです。



2022年8月10日に中間決算を行った際には、今期経常利益を27%増益に上方修正し、2期連続で最高益としました。配当も45円の増額とし、翌日は12%程度の値上がりとなる上昇相場となりました。

今年11月にはコロナ患者が急増した7月～9月期の第3四半期の決算発表があります。果たして結果は如何に!!

チャート (松井証券 チャートページより)

